

はじめに

インターネットで誰でも気軽に情報が得られる時代だからこそ、「何を言っているか」よりも「誰が言っているか」が問われる。

今も、そして30年後も理想の家に住まうために……。

この本を手にとったあなたは、家を探しているか、または探し始めたばかりだと思います。今は賃貸に住んでいて、「家族が増えて手狭になったから、もっと広い家に住み替えたい」「家賃を払っているのがばからしいから、そろそろ買おうかな」など理由はさまざまだと思います。

新居に対する夢や憧れを持って探している人も多いのではありませんか。

「ウォークインクローゼットやシューズクローク、パントリーなど、収納は多いほうがいい」「吹き抜けのある広いリビングで、明るくて開放的な生活がしたい」「足が伸ばせるお風呂に、テレビを見なが

らゆつくり浸かりたい」などなど、考えるだけでもワクワクしますね。

賃貸にするか持家にするかも含めて、今回家を「買うか？ 買わないか？」を考える上で、もう1つ付け加えていただきたいことがあります。

それは、「家はあなたや家族にとって何のために存在しているのか」という本質的な問いかけを、あなた自身にしていただきたいのです。

今回、住宅購入を検討する上で、人生を、

- ・働いて定期収入を稼いでいる期間
- ・リタイア後の年金生活

に分けて考えていただくことをおすすめします。

働いている間はできるだけ蓄財し、リタイア後は定期収入が入ってくる仕組みをつくるのが大切です。

というのも何歳まで生きるのかわからず、十分な資産がない中で貯金を取り崩す生活というのは、不安が大きいためになかなか踏み切れないという話をよく聞くので、いくつになっても収入があるというところが、日常生活に安心をもたらすものだと思います。

本書では家という、あなたに住空間を提供してくれる存在を通じて、不動産資産としての機能についてもじっくり考えていきたいと思えます。

人生90年時代、資産性の高い不動産は将来、老後のあなたを強力にサポートしてくれる頼もしい存在になるからです。

そして本書を手にとったあなたに、家探しを通じて体験していただきたいことがもう1つあります。

それは、世の中の常識や慣例にとらわれることなく、ご自身の頭で考えて物事の本質に辿り着くことです。

本質とは、木でいうところの幹のようなものです。ここがわかると、表面上の枝葉の情報に惑わさ

れることがなくなります。海にたとえると、ふらふら波まかせの状態から、しっかりと海の底に立つて少々の荒波でも揺るがなくなります。

そうすると日々、マスコミやインターネットから大量に入り込んでくる情報に踊らされずに自分の頭で考えられるようになり、それは家探しのみならず仕事や家庭、資産形成の一助となり、ひいては豊かな人生を歩む足がかりになります。

本書では数十年後の老後、理想のセカンドライフを満喫できる「売ってもよし、貸してもよし」の資産性が高い物件とは何かについても、実際の体験談なども交えつつ、楽しく学べるように構成しました。

「結婚や出産を機に手狭になったから住み替えたい」「賃貸と持家のどちらがいいか」「そろそろ家を買いたい」「いつかは家を買いたいな」と漠然と思い始めている方にもお役に立つようにまとめてあります。

本書を楽しく読み進めながら、ライフスタイルや理想に合った、帰りたくなる魅力ある家に住んで

笑顔で暮らしているうちに、老後資産づくりまでできてしまう家のことや、住まい選びを通じて「人生をどう楽しむか」を考えるきっかけになれば嬉しいです。